

一般教養科目 履修を推奨する科目

2022/4/1

○教養教育の目標

本学における教養教育は、専門教育と互いに補完し合いながら、体系的・段階的に行うことによって、課題が複雑化・多様化し、グローバル化した現代社会の中にあっても、優れた専門性を支える基盤となる以下の能力を、学生に共通に身に付けさせることを目標とする。

1. 専門分野の枠を超えて広い視野で多角的・複眼的に自然・人間・社会を俯瞰できる能力
2. 多様な文化・言語を理解し協働するための国際性を身に付けるとともに、グローバル化した社会の中で、多様な価値観を持つ人材とコミュニケーションを取れる能力
3. 課題を自ら発見し、主体的に考え、解決に取り組むための論理的・批判的思考力
4. 正解のない課題に対しても積極的に挑むための判断力・行動力
5. 社会の激しい変化の中でも自らを律し、自らの位置付けやキャリア形成を確立するとともに、心身ともに自己を管理する能力

○学士課程 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー] (抜粋)

「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰できる能力、判断力・行動力、自己管理能力を養う授業科目を配置し、初年次から上級学年まで継続的に学修できる有機的なカリキュラムを提供する。

○一般教養科目の履修に向けて

1. 一般教養科目は、学習段階をA～D及びNのカテゴリーに割振り、科目の学際化、多様化、高度化や学ぶべき学年を示しています。
2. また、科目の種類や学ぶ内容を学生や社会に対してわかりやすく示すため、5つの科目群（①自然を学ぶ科目群、②人間と社会を学ぶ科目群、③キャリア形成を学ぶ科目群、④領域を超えて学ぶ科目群、⑤外国語を学ぶ科目群）と系の分類を設けています。
3. 学科により、外国語を学ぶ科目群の「英語系」と「初習語系」は必修等の条件が設定されています。履修に向けては必ず学修簿を確認してください。
4. 一般教養科目は、3年生以上で4単位以上修得する必要があります。

⇒各学年で一般教養科目を履修するにあたっては、上記1～4を参考にして、1年次のうちから卒業までを見据えた一般教養科目の履修の計画を立ててください。

○バランスよく各分野の知識・能力を獲得する場合の履修例

【学科が定める必修/選択必修科目】

| 5つの科目群 | 系 | 履修のポイント | |
|---------------------|------|---------------------------------------|--|
| | | 1年生前期～ | |
| 外国語を学ぶ科目群 [必修/選択必修] | 英語系 | 学科が定める必修科目/選択必修科目を履修してください。 | |
| | 初習語系 | 学科により単位修得が必須となっています。学修簿を確認して履修してください。 | |

【自身で自由に選択する科目】

| 5つの科目群 | 系 | 履修のポイント | |
|----------------|---------------|---|--|
| | | 1年生前期 | 1年生～ |
| 自然を学ぶ科目群 | - | カテゴリーAは初年次導入科目のため積極的な履修を推奨します（卒業所要単位として認められるのは4単位まで）。 | 5つの科目群そして各系から幅広く科目を履修してください。 3年生以上で、一般教養科目（カテゴリーC・N ※学部により科目が指定されているため必ず学修簿を確認してください）を4単位修得する必要があります。 そのため1年生のうちから上級学年の履修を計画しながら科目を履修してください。 |
| 人間と社会を学ぶ科目群 | 人文学系 | | |
| キャリア形成を学ぶ科目群 | 社会科学系 | | |
| | 知的財産系 | | |
| | 表現・コミュニケーション系 | | |
| | キャリアデザイン系 | | |
| 領域を超えて学ぶ科目群 | 留学生教育系 | | |
| | 科学技術社会論系 | | |
| | 情報学・環境学系 | | |
| | 健康・スポーツ系 | | |
| 外国語を学ぶ科目群 [選択] | ゼミ・特別講義系 | | |
| | 英語系 | | |
| | 初習語系 | | |